

この度は、弊社の商品をご購入いただき、誠にありがとうございます。本商品のご使用前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。また、お読みになった後はいつでもご覧になれるよう、大切に保管してください。

お使いいただく前に

初めてお使いになる場合は、ソーラーパネルを直射日光に当て、十分な充電を行った上でご使用ください。
※必ず電源をONにした状態で、充電を行ってください。(電源OFFでは充電されません)

- 本商品は、一般家庭向けを目的とした、屋外用ガーデンソーラーライトです。公共および商業施設でのご使用はお控えください。
- 本商品は、IP44防滴仕様で屋外での使用に適していますが、水やその他の液体に濡れたり、直接噴流水にさらしたりしないでください。
- 朝から夕方にかけて太陽光が当たる場所に設置してください。時間帯により太陽光が当たらない設置場所では充電不足となり、点灯時間が短くなる場合や、点灯しない場合があります。
- 点灯・消灯時間は、LED等、電子部品の性質上、個体差があります。

商品特性

ソーラーライトについて

- 日中、ソーラーパネルに太陽光が当たると、電気エネルギーに変換され、内蔵充電電池に蓄電します。
- 夜になると、日中充電した電気を使ってライトが自動的に点灯します。
- 本商品(ライト)はニッケル水素充電電池を使用しています。使用環境、充電状態の違いにより「メモリー効果」が発生することがあり、1日当たりの点灯時間が極端に短くなる場合があります。十分な充電をした後でもライトが暗い場合やすぐに消えてしまう場合は、充電電池の交換時期です。 ※「メモリー効果」…充電電池内に電気が残った状態で追加充電がされにくい現象。

充電および点灯について

- 充電完了状態(夏季の場合、約8時間充電時)で、一晚最長6時間点灯可能です。
- ソーラーライトの点灯時間は、お使いいただく地域、設置場所、季節や天候の日照条件などに左右されます。日照時間の少ない地域や場所、冬季、日中が曇りや雨、雪でソーラーパネルへの太陽光の照射時間が少ない場合、ライトの点灯に必要な電力が充電できず、点灯時間が短くなる、または点灯しないことがあります。

設置場所について

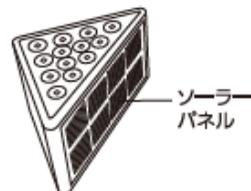
- ソーラーパネルが必ず、直射日光の当たる場所に設置してください。設置場所は、南向きが最適です。
- 朝から夕方にかけて少なくとも6時間は太陽光が当たる場所に設置してください。時間帯により太陽光が当たらない設置場所では充電不足となり、点灯時間が短くなる場合や点灯しない場合があります。
- 夜間、周囲が明るくなる場所には設置しないでください。点灯しない場合があります。
- 設置の際は、雨などによる浸水や積雪のない場所、湿気の少ない場所、落下などの危険がない場所を選び、使用してください。
- 水没するおそれのある場所では使用しないでください。

定期点検・お手入れ時のご注意

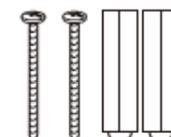
- 定期的に水で湿らせた柔らかい布で、ホコリや汚れをふき取ってください。(洗剤類は使用しないでください)ソーラーパネルが汚れていると太陽光の透過率が低下し、十分な充電ができなくなります。
- 水の中につけて洗うことは絶対にしないでください。
- 特に冬季は日照時間が少ないため、雪やホコリがソーラーパネルについてままにならないよう、こまめなお手入れをおすすめします。
- 冬季はランプを乾燥した霜の付かない場所に保管することをおすすめします。耐凍害性では無い為、凍結する低温で割れが生じる可能性があります。

部品の確認

部品の種類と数をお確かめください。



A.ライト本体:1個



B.プラグセット:2組



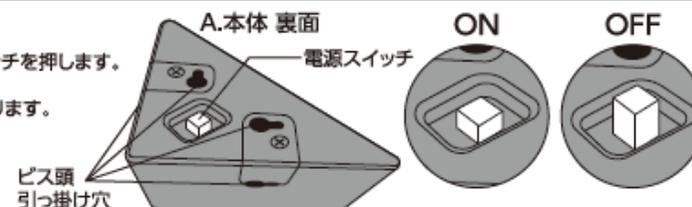
C.両面テープ:2枚

使用方法

1 電源の入れ方

A.ライト本体 裏面にある、電源スイッチを押します。プッシュロック式です。押すたびにONとOFFが切り替わります。

※必ず電源をONの状態で、充電を行ってからご使用ください。



2 階段側面に固定します

※あらかじめ、電源が入るか確認をしてください。
※必ず電源を「ON」にしてから取り付けてください。

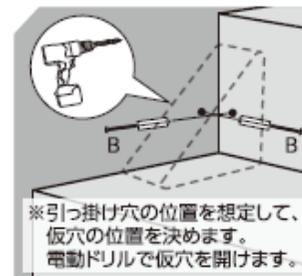
・両面テープで固定する場合

- ①A.ライト本体 裏面(側面)にC.両面テープを貼ります。
※ソーラーパネルの面を避けて貼ってください。
- ②階段側面に固定します。

・コンクリートの階段にビスで固定する場合

※必要工具：電動ドリルをご用意ください。

- ① 階段側面に仮穴を開け、B.プラグセットを取り付けます。
- ② A.ライト本体をビス頭に引っ掛けます。本体をスライドさせて、引っ掛け穴の細いスリットに、ビス頭を固定してください。



※引っ掛け穴の位置を想定して、仮穴の位置を決めます。電動ドリルで仮穴を開けます。

